



発行所
株式会社 ホンマ電機
神奈川県相模原市南区上鶴間1丁目12-1
電話 042(746)1616(代)
ホームページ **ホンマ電機** 検索
発行責任者 本間 俊三

地球を蝕む温暖化

昨今の異常気象

今年9月半ばの四国地方から北海道への広い範囲での大雨。8月初旬の秋田県、岩手県を中心に記録的な大雨。この間に竜巻による大きな被害。7月下旬西日本から北日本の広い範囲で大雨と竜巻被害。

IPCC報告書から

温暖化の原因は人

このたびIPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)は、大きな危機感を抱いて、重要な報告書を公表しました。9月27日の報道によれば、地球温暖化の原因として、95%から100%石油や石炭を使う人間の活動が引き起こしたものであると報告書で断じ、温暖化の対策を取らなかつた場合、今世紀末には重大なことになると述べています。

温暖化を加速させるCO2の増加

このような自然災害は、人間などガスの果たす役割は、早い時期から解明されていきました。CO2濃度は40万年ほぼ安定であったものが、産業革命以降増加し始め、2100年には2倍から3倍に増加するとの予想。

IPCCの報告

IPCCの報告書で基礎になったデータは、スーパーコンピュータを駆使して得られたものであったと言われています。前回の報告書で指摘したヒマラヤの氷の消滅について、誤った

目黒雅叙園 照明設備LED化工事

「異常気象」

結婚式場として日本一の長い歴史を持ち、昭和の竜宮城とも呼ばれ、親しまれてきた「雅叙園」。創業者の細川力蔵氏がお客様に料理はもちろん、美術も賞美して頂きたいと、芸術家たちに描かせた壁画や天井画、彫刻などで園内は美しく装飾されています。

披露宴まで貫いて行う結婚式の革命をもたらす、世間を驚かせました。弊社では照明設備LED化工事を受注し、完了しました。照明LED化のメリットは、電力消費量の低減、長いランプ寿命、特にランプ交換の困難な高所、階段上やエスカレーター上などにお奨めです。作業は営業後の深夜になるため、作業員にとっては厳しいですが、超一流施設での作業に誇りを持ち、励んでいます。

昭和3年港区で創業、昭和6年、江原郡目黒町(現在地)に開店。昭和13年、結婚式が家庭や神社で催された時代に、雅叙園は写真、美容、衣裳室を備え、

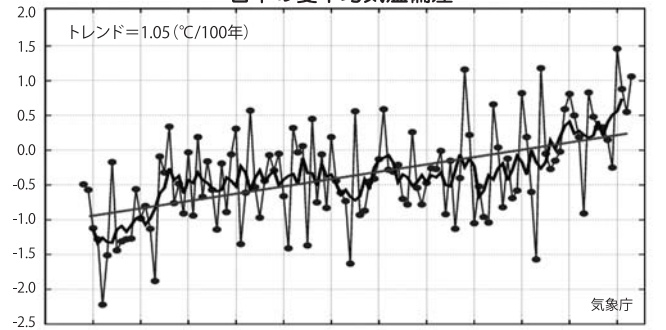


交換工事の終わったロビー



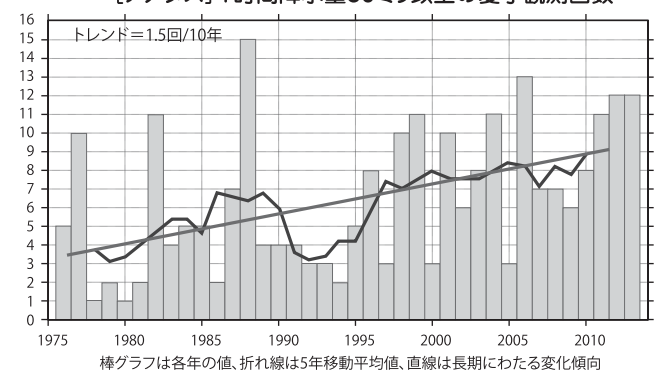
LEDに交換後の照明と壁画

日本の夏平均気温偏差



細線は夏平均気温の基準値からの偏差を平均した値、太線は偏差の5年移動平均値、直線は長期的な傾向

【アメダス】1時間降水量80ミリ以上の夏季観測回数



棒グラフは各年の値、折れ線は5年移動平均値、直線は長期にわたる変化傾向

報告がなされたので今回はより慎重な検討が加えられました。対策を取らなかつたら

今年、京都府や滋賀県を襲った豪雨は、かつて経験したことがない大雨と表現され、特別警戒が発せられました。しかしこのような豪雨や度々起こると指摘されています。しかもこうした現象が、世界各地で洪水や干ばつ熱波、竜巻などとなり発生すると報告書は警告しています。

地球をむしばむ他の要因

地球の悲鳴は温暖化だけではなくありません。オゾン層破壊、酸性雨、森林減少、砂漠化、海洋汚染、有害化学物質の越境移動など多岐にわたっています。地球環境問題は人類が直面する重要な問題です。産業革命以来大量に消費するようになつたエネルギーや資源、それに伴う廃棄物、特に汚染化学物質。さらには機械化が進んだことによる大規模な自然破壊です。

これまででも繰り返され続けたいように、人間の豊かな生活と引き換えに、失われる物へもしっかり目を向けなければならぬと、改めて考えさせられました。

新入社員紹介



武藤 武
入社 平成25年5月16日
第2種電気工事士



長寿を祝って専務が詩吟に合わせて舞う



多忙な仕事を労いビールで乾杯



中和田地区の神社境内で、古くから行われていた納涼祭での盆踊り、今もって盛会です



⑥2 近況報告

☆納涼バーベキューの集い
例年7月に催されていた恒例のバーベキューの集いが、今年8月23日(金)4時から弊社駐車場で開催されました。今年の夏は

特に暑かったのですが、社員たちはめげずに励み、納涼の集いに仕事の疲れを癒しました。

☆中和田地区の納涼祭

古くからの集落である中和田の盆踊りには歴史があります。本間俊三は自治会長として最後の納涼祭を全う。電気工事も弊社がお手伝いさせて頂きました。

このイメージマークはサービスマークとして登録されています。



さがみはら産業創造センター



さがみはら産業創造センター
S-Cがみはら産業創造センターは、「起業家の創出・育成、新規創業者や中小企業などのサポートを通じて、地域経済の活性化を図る」ことを目的に平成11年4月に設立されました。相模原市や独立行政法人中小企業基盤整備機構、及び数十社の民間企業を株主



新しい会社案内のパンフ

新しい会社案内のパンフからご覧下さい。



CMビデオの画像

業務の一部を取り上げ、地域とのかかわりを強調するものとなりました。動画でアップしてありますので、弊社のホームページからご覧下さい。

創業40年を記念、新しい会社案内とCMビデオ作成
昭和48年に個人の電気設計事務所として創業し、その傍ら電気工事の請負を始めて今年で40年になりました。
会社案内はこれまで何回か作り変えてきましたが、これを節目に全面的に見直し更新しました。
また、CMビデオも「もんじえ」祭りの大型ビジョンで放映されるのを契機に作成することにしました。30秒と短いのですが、弊社の

「もんじえ祭り」今年もお手伝い、今はジャムコレクションが面白い!



賑わう「もんじえ祭り」



賑わう「もんじえ祭り」

別名「相模大野 Jazz Festa」ともいわれるこのお祭りは、例年8月下旬の土曜・日曜の二日間、相模大野中央公園を舞台に開催されます。
主催者は、相模大野駅周辺の飲食店からなる実行委員会であり、相模原市や商工会議所などが後援し、各種団体・企業が協賛に加わります。
ホンマ電機は、第1回目からお手伝いさせて頂き、今年で9年目になります。
「もんじえ祭り」に於いては、開催当初から舞台でジャズが演奏され多くのファンが定着しました。数年前から、ジャズを相模大野の街おこしにしようといった様々な企画も行われています。
その一つが、ジャムコレクションであり、9月14日から10月16日までの間、伊勢丹・ポノ広場・南口広場・参加店の店内などで開催されていきました。We bでも紹介されました。

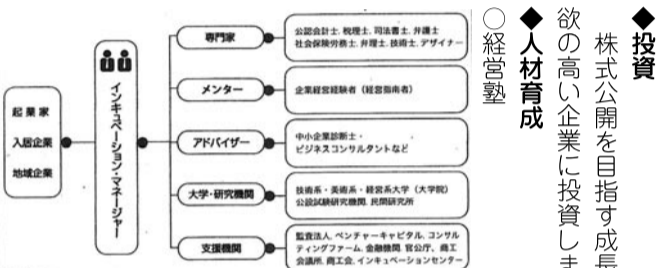
その一つが、ジャムコレクションであり、9月14日から10月16日までの間、伊勢丹・ポノ広場・南口広場・参加店の店内などで開催されていきました。We bでも紹介されました。
南大野小学校では、登校時に最も危険な交差点2カ所に、学校職員と保護者や地域の人が交代で交通指導に当たっていました。そこに青パト車両を登校時に配置することにしました。
青色灯を点滅し、黒ツートンカラーの青パト車両は、通行車両からよく見え、児童の交通安全上、効果的であるといえるでしょう。

児童を見守る青パト

学童登校見守りにも青パトが

「市民交番青パト隊」は、平成25年5月より活動を開始しました。通常の防犯啓発パトロールに加えて、学童の登下校見守りも行うようになりました。鶴園小学校北側では、十数年前に児童を巻き込んだ大きな事故が起きたことから、住民有志による見守り交通指導が行われていました。その活動に青パト車両も加えることで効果を上げています。

として設立されたインキュベーションセンターです。事業を志す人に、事業開始から成長に向けて種々の支援を行う施設を、起業家育成施設(インキュベーションセンター)としています。同センターはこの活動を通じて、地域経済の発展に貢献しています。



● 職場リーダー養成塾
● 経営者セミナー
● 連携
● 燃料電池研究会
● 新技術創造研究会
● SPS研究会
● ラボ・オフィス
● S-C O・1・2
入居対象が、起業準備中から創業開始、新分野進出、成長期、研究開発等の成長段階で区別されています。
弊社社長は、同センター9月発行S-CかわらばんNo.26の表紙に「仕事に地域活動に全力疾走！」と紹介されました。また26年2月まで同経営塾を受講中です。

企業ルポ ● お客様紹介 65

医療法人直源会
相模原南病院
〒252-0331 神奈川県相模原市南区大野台7-10-7

相模原南病院 TEL.042-759-3911 FAX.042-758-0140
大野台クリニック TEL.042-704-6645
どんぐりこどもクリニック TEL.042-786-0281
理事長 石川 誠 剛 氏
のぶ たか



相模原南病院・外観



相模原南病院・待合室

相模原南病院 (長期療養型)
・開院 昭和56年11月16日
・理事長 (歯科医師) 石川誠剛氏
・院長 鈴木知亜樹氏
・診療科目 内科・精神科
・病床数 471床
(療養病床386床・精神病床85床)
どんぐりこどもクリニック
(大野台クリニックビル1F)
・診療科目 小児科・アレルギー科
・院長 宮澤廣文氏

大野台クリニック
(大野台クリニックビル2F)
・新規開院 平成25年10月1日
・診療科目 内科・消化器内科
・院長 前澤寧氏
今日の日本の高齢化社会への趨勢をいち早く見極め、高齢者への医療・介護の充実が我が国の重要な課題となる事を予見し、その一翼を担うことを使命とした前石川直正理事長により相模原南病院は創設されました。
今こそ最寄駅としてJR横浜

線「古淵」の駅があり、病院前にバス停も設置され、利便性の高い立地となりましたが、開院当時は国道16号線のバスで相模原駅や相模大野駅まで数十分要しました。その交通不便な農村地域に病床数196床もある大きな病院が建ち、周辺には先行きを案ずる声が多かったようです。
しかしながら、同院は、前理事長を含め、職員一丸となり、幾多の困難、激動の時代を乗り越え、地域に欠かせない存在となり、平成23年には開院30周年を迎えるに至りました。創設者の意思を受け継ぎ、現石川理事長は「地域の



大野台クリニック・内科・消化器内科・CT

皆様に愛され、大切な人に自信を持って薦められる病院」を理念に掲げ、高齢者の特性を理解し、専門性の高いチーム医療を行い、ゆとりある穏やかで快適な環境を提供しています。
そして、更なる地域医療への貢献を目指し、平成25年6月、どんぐりこどもクリニックをリニューアルオープン。10月1日より大野台クリニックを開院しました。
弊社は平成23年、相模原南病院C棟の空調機166台を更新、療養者の快適性や同院の経済性の向上に貢献しました。



どんぐりこどもクリニック・待合室